

臺灣總督府  
臨時情報部

# 報部

昭和三十三年七月一日

昭和三十三年九月二十日第三種郵便物認可  
昭和三十三年七月一日創刊  
（一月一日、十一日、廿一日發行）

支那事變一周年を迎へて

（臨時情報部）

學校に於ける皮革資材消費節約

（文教局學務課）

地方情報

（州・廳臨時情報部）

海外情報

（臨時情報部）

附錄事變日誌

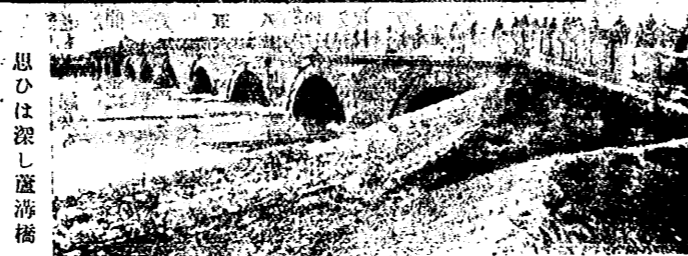
第三十號



忘るなる一七七日  
支那事變一周年



五色旗は燦として翻る



思ひは深し蘆溝橋

愛國歌 聖戰一年の回顧

表詞 陸軍省  
作曲 柴野高  
編曲 山田榮一



一 去年七夕の宵なりき  
瀟湘湖畔雲起り  
東亜の天地風荒れて  
吾が奮怒の師は起りてり

二 京津の野に雲霧に  
又、上海に太原に  
黄河を渡り首都を衝き  
早や漢口も指圖の中

三 懸軍萬里、果てなきも  
赤魔の野望今破れ  
北支、中支の自治成りて  
維新の真、成らんとす

四 内、國民の血け湧きて  
若きも老も又、婦女も  
或は厨間に献金に  
銃後の意氣は進る

五 嗚呼、八紘を宇となす  
神武の勅、今にして  
中華の民は和を祝ひ  
歸順の敵は我を怒ふ

六 見よ皇軍の戦績を  
聴け防共の雄叫びを  
聖業將に成る處  
衆士懸に我を待つ

支那事變一周年を迎へて

臨時情報部

昭和十二年七月七日北京郊外盧溝橋畔に端を發したる今次支那事變は早くも思出深き一周年を迎へることゝなつた。其間皇軍破竹の進撃は北は遠く湖北蒙疆の地に、西は大黄河を横切りて陝西に、南は江南一帯の地から、更に遠く厦門に及び、真に文字通り懸軍萬里の大征戰を展開し今や蒋介石政権が第二の首都とし死守を豪語した漢口も我が忠勇無雙なる皇軍の前には風前の燈であり住民は全く蒋介石軍隊に對する信頼を失ひ早くも奥地へ奥地へと避難して居る哀れむべき状態となり、我が赫々たる戦果は世界戦史に未曾有の新記録を樹てつゝある。

而して占領地域の住民は皇軍の規律の嚴格なるにすつかり安心すると共に優しい日本軍の救恤の手に救はれ新しい平和と幸福への第一歩を踏み出した、皇軍占領地域には既に王道の曙光が輝き初めたのである。

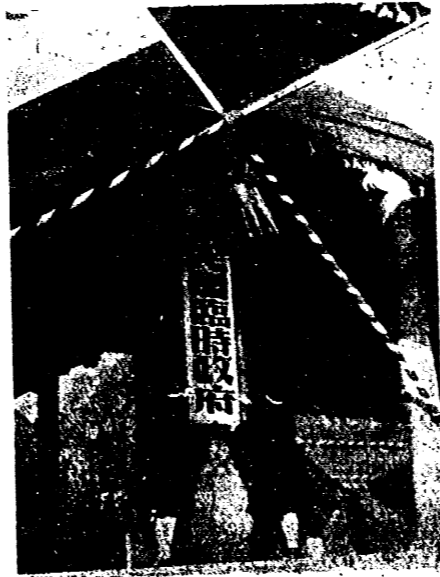
帝國が事件不擴大、局地解決方針を聲明した一年前の事變勃發當初の情勢を回顧する時誰か無限の感慨に打たれぬ者があらうか。

曩に帝國は抗日軍の本據首都南京を攻略し抗日支那に對し徹底的打撃を與へると共に一方國民政府

の反省を促したのであつたが彼は遂に我が真意を解するに至らざるのみならず人道の公敵たる共産分子を要路に用ひて蘇聯と親しみ、更にソ聯、英國其の他の援助又は同情を頼んで飽くまでも長期抗戦の自棄的態度に出たのである。

茲に於て帝國政府は爾後國民政府を對手とせず、眞に提携するに足る新興支那政權の成立發展を期待し、之と兩國々交を調整し更生新支那の建設に協力せんとするものなることを中外に闡明すると共に愈々長期戦に對處する本格的持久態勢を整ふることゝなつた。

首都南京を遂はれた國民政府は遠く漢口、重慶、長沙等の奥地に分散逃避して名實共に一地方的政權に顛落し、其の機能を發揮し得ざるに至つたので、今まで蔣政權の惡政極權に苦しんでゐた北支民衆の間に胎動しつゝあつた新政權への希望は遂に東亞の安定と支那五億民族更生の輝かしい使命を擔ひて中華民國臨時政府が去る十二月十四日北京に於て樹立せられた。次いで三月二十八日江南一帶の戦塵收りて人心安定するや南京に於て中華民國維新政府は樹立せられた。こゝに支那再建の第一歩は支那民衆歡呼の裡に輝く未來を約束せられ力強く踏み出されたのである。



(京北) 生誕の府政時臨國民華中

我が帝國も事變第二期に入り、長期戦對策を樹て物、心兩方面に互り國家總動員態勢の完成を圖む之に必要な諸般の施設を實現し以て武力戦に伴つて思想戦、經濟戦、政略戦、外交戦等の綜合的威力を發揮し一つは可成速に事變を終局に導くと共に一は次に來るべき事態に備ふべく以て東亞永遠の平和に向つて磐石不動の基礎を確立したのであつた。

併して之等新政權は孰れも宣言書に示す通り我が聖戰の目的に合致するものであるから、之と盟交の誼を厚くし、之が順調なる成長發展に協力し今次聖戰の偉大なる成果を收めつつあるのである。

勇猛果敢なる皇軍の神速なる進撃の前に連戦連敗國の大半と其の首都さへ失つた國民政府はその不面目を恢復せんものと徐州を中心とする隴海線一帶に大軍を集中し、既設陣地を増強して精魂を盡して防禦陣を固めると共に報道機關を總動員して徐州會戰の重大意義を強調し、列強に向つて猛烈な戦捷デマ宣傳をなした。徐州こそは彼等が金城湯池と恃める所であり、總司令李宗仁をして「大運河の決戦は常に戦區に於ける勝敗の問題たるのみならず國家民族存亡の岐路なり」と叫ばしめた所であり、世界環視の焦點となつたのであるが、皇軍一度起つや正に疾風枯葉を捲くの概あり、去る五月十九日之を攻略し皇軍の眞價を遺憾なく發揮した。

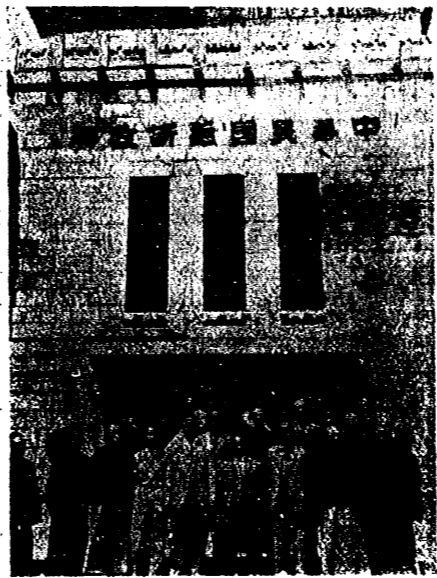
今や徐州の攻略に依つて北支、中支にある我が軍隊の陸上移動可能となり兩者の連繫により戰略上の地位を著しく向上したのみならず、隴海線の支配權確立は政治上に於ても我方の勢力に一段の進展を意味するものである。即ち江蘇、河南、安徽の沃野が蔣政權より完全に離脱して新政權の陣容を強化せるのみならず、津浦線の貫通により北支中支の兩政權が一體化の氣運を激成した。

然るに敗殘の抗日軍は恃むべからざるを待み、二、三外國の後援を頼りに長期抗戦を嘯いて居るのである。茲に於て皇軍は意氣衝天の勢を以て進軍し長驅漢口を衝くの決意を示すや、敵は周章狼狽戦はずして奥地に逃竄し僅に餘喘を保つに過ぎない状態に立到つた。最早勝敗の數は自ら明かである。衰れ抗日政權は容共政策にも破綻を來たし、内部的分裂崩壞の兆見え又經濟的には近代産業機關の

大部分が破壊せられ而も海關其の他の收入の大半を失ひ財政の窮乏その極に達し今や最後の關頭に立ち到らんとしてゐる。

然れども之を以て直に蔣政權が崩壞し、事變も終熄するものと速断するのは餘りにも樂觀的に過ぎる、殊に經濟的に云つても支那の經濟組織といふものは列國の如く秩序立つて居ないので事變に依る影響は甚だ深刻なものであるとは云へ一箇所を押へられても全體的に波動を與へるやうな近代的經濟組織でなく、いはゞ對建時

代に於けるが如き無神經な經濟形態である。更に軍も膨大な人口の中から訓練も規律もなき土民を必要の儘に強制補充するので別に全國的動員を行ふわけでもない。兵士の給養の點についても日本の様に秩序立つてゐない爲にこの方面の經濟的負擔も我々が想像する程ではない。又困れば鐵道、鑛山其の



（京南）入要の府政新維國民華中

他の利権を外國に提供して一時を糊塗することは支那の軍閥者流の常套手段である。加之陰に陽に蔣政權を援助して何等かの爲にせんとする二、三の列強のあることを想到するとき戰局の前途は決して輕視出來ないものがあり、聖戰の目的たる眞に提携するに足る新興支那の建設には尙相當の時日を要すべく、從つて前途幾多の難關のあることを覺悟せねばならぬのである。

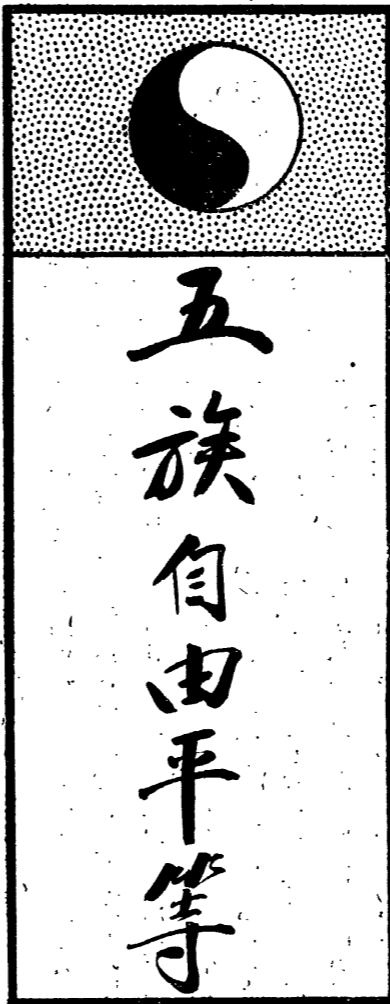
此の秋に當り帝國南方の要衝にして南進國策の據點たる我が臺灣の地位は益々重大となつて來たのである。抑々今次事變の發生進展に伴ひ地理的にも軍事的にも將又文化的にも特殊事情にある本島の重要性は國民一般に認識せらるると共に本島銃後の備へは國民をして安堵せしむるに充分であつた。殊に南支に於て古來本島と民族的に最も關係の深い厦門が我が勇敢なる陸戰隊によつて攻略せらるゝの快舉が報ぜらるゝや島民の緊張は一段と生彩を放ち、南進國策の第一線戰士たるの面目に輝いて居るのである。即ち臺灣總督府に於ては軍に對し最も緊密なる協力を爲し明朝南支建設を目指して調査隊、並に宣撫工作班を派遣したのであるが、その獻身的努力は克く或は電燈、水道、



厦門治安維持會發會式

電話等の諸施設の復興に、或は治安の維持に、或は殘留民の慰撫に著々實績を挙げ遂に六月二十日厦門治安維持會は健かに誕生し華々しき新生厦門の力強き第一歩を踏出したのである。此の治安維持會の順調なる發展を援助することは我が臺灣の重大責務にして、閩南の一角に大極旗翻る王道樂土の出現こそは事實を以て閩粵民衆の頑迷を啓蒙し、更に南洋華僑の迷夢を覺醒せしむる所以である。

### 厦門治安維持會旗章



黄色は支那第一代皇帝たる黄帝の色にして漢民族を表し、大極は陰陽を分ち、白色を陰、黒色を陽とし、陰陽あつて始めて萬事圓滿に調和し、併せて天地萬物の意を表すものである。

参考 綱目は黄色

之等の希望に躍る島民の前途は洋々として多幸なるものがある、然れどもそれは坦々たる道ではなくて切り拓くべき荆棘の道である。足許を見ずして盲進すべきではない、戦は正に酣である。島民は須らく之に備ふべき經濟力の涵養と國民精神の振興とを念頭に置いて一時の昂奮や緊張に墮することなく、堅忍持久克く本島の使命遂行に邁進せねばならないのである。

## 學校に於ける皮革資材の消費節約

文 教 局 學 務 課

全島學生々徒兒童に對し一般軍需資材並に輸入品及輸入品を原料とする國內製品の消費節約については既に督府の方針に基き地方廳及直轄學校に於て夫々之が實現に努めつゝあるが今般更に軍需確保の要求に則し一面國民精神總動員非常時財政經濟への自覺的協力の實を擧げしむると共に一層時局下に於ける學生々徒兒童の訓育を徹底せしむる爲各關係方面に對し皮革類を大量に使用消費しつゝある全島六十萬の學生々徒兒童に對し被服及學用品中特に皮革製品の使用に制限を加へ重要な軍需資材の消費を極力壓縮することとした。即ち皮革製の靴は原則として之が使用を禁止しソックス製其の他の代用品(生ゴム製を除く)を使用せしむることとし地方の状況に依つては下駄及草履の使用をも許すこととしたのであるが一面物資の死藏を避くるため現在所持せるものに限り當分の間一定の期間を定めて通學の際使用せしめ得ることとした。皮革類の使用禁止は雨天の際等若干の不便はあるが學校體操教練其の他教育上には何等支障がないのみならず衛生的にも又家庭經濟上にも好結果を齎すこととなり之に依りて生じたる餘剰

は直ちに勤儉貯蓄運動にも振向けることが出来る。其の他皮革製のランドセル、シース、帯等に對しても新たに購入使用することを禁じ漸次ステープルファイバー又はステープルファイバー混織品其の他適當なる代用品を以て之に充つることとした。又服制の定に依り皮革の使用を必要とするものは此の際規定の改正を行ひ他の代用品を以て之に代へしむることとし此の際國策に順應して學校教育に於ける皮革類消費節約の徹底的實を擧ぐる様直ちに實行に取掛かりしむることとした。

州知事廳長直轄學校長宛通牒

一般軍需資材並に輸入品及輸入品を原料とする國內製品の消費節約に關しては曩に照會せし所にして地方の實情に應じ夫々實施中のこと、存せらるゝも其の後に於ける時局の推移に鑑み學生々徒兒童をして被服及學用品中特に皮革製品の使用を極度に壓縮せしむるは軍需確保の要求に則應して國民精神總動員非常時財政經濟への自覺的協力の實を擧ぐると共に時局下に於ける學校の訓育上最も喫緊なる事項と被存候就ては此の際學生々徒兒童の被服及學用品中特に皮革製品の使用に關し事變繼續中左記に依り之が消費節約の實效を收むる様實施相成度  
右經伺の上通牒す

記

一、皮革製の靴は之が使用を禁じツク製其の他の代用品(生ゴム製品を除く)を使用せしむ

ること但し現在所持するものに限り一定の期間を定め使用せしむることを得

二、地方の状況に依り通學用に下駄及草履を使用せしむることを得

三、皮革製のランドセル、シース、帶其の他の學用品に付ては新に購入使用することを禁じ漸次ステープルファイバー又はステープルファイバー混織品其の他適當なる代用品を使用せしむること

四、服制の定に依り皮革の使用を要するものは他の代用品を以て之に充つる様規定の改正を行ふこと

★

★

★

★

★

★

# 地方情報

## 州廳臨時情報部

### 献金美談

新竹州臨時情報部

竹東郡寶山庄寶斗仁字深井八三番地庄協議會員江立昇氏の弟江文鐘君は去る○月軍夫として暴支膺懲の聖戦に参加してより數箇月になり此の度軍部より郡を通じ給料を同人の妻江吳氏秋妹の手に渡された。之れを受領したる妻女は「夫從軍中は郡守殿を始め庄長さん其他庄職員方々の數回の御慰問に預り且つ慰問金並慰問品迄戴き一家無上の光榮たるのみならず、庄當局の御援助に防衛團員各位の田植より除草まで絶大なる御奉仕を辱ふし只々

感謝の至りである。尙兵役の義務なき我々本島人に軍夫として出征する事の出来たのは最大なる名譽であり、又當然の義務にも拘らず意外にも澤山の俸給迄戴く事は全く感謝措く能はざる所である。爰に家族一同相謀り給料の一部甚だ僅少であるか意のある處を察せられ献金手紙を乞ふ旨の手紙に「現金一金拾圓國防献金。一金拾圓寶山庄防衛團に寄附」を添へて當該庄役場に提出したるを以て一般庄民は其の美譽を賞揚して居る。

### 支那事變に關し 執りたる措置

臺南州臨時情報部

## 一 臺南州國民報國貯蓄組合の設置

本州に於ては國民貯蓄奨励の趣旨に依り非常時財政經濟政策に協力し貯蓄報國の實を擧ぐるため知事官房、内務部及附屬團體に在勤する者を以て臺南州國民報國貯蓄組合を結成し愈々昭和十三年六月より實行することとせり。

尙警務部に於ても同一規約に依り別に臺南州警務部報國貯蓄組合を設置し本月より實行することとせり。

## 二 時局に關する講演資料の發刊

(第八輯)

支那事變の推移に關する正しき認識を會得せしむるに共に皇國民たるの信念を啓培し愈々國民精神の振作更張を圖り銃後の護を固くし堅忍持久以て皇運を扶翼し奉るべく時局に關する講演資料第八輯三千部を發刊し普く州下に配布せり。

## 三 軍事援護相談所の設置

本州下軍事援護に關しては昭和十二年九月臺南州軍事扶助委員會の創立以來舉州一致機を逸せず業務の遂行に邁進しつゝある所にして就中最近に於ては州事務分掌規程を改正し内務部教育課に軍事援護係を設け行政機構の強化を圖り業務遂行上萬遺憾なきを期しつゝある所なるが今回更に該業務の萬全を期するため臺南州軍事扶助委員會に軍事援護相談所を設け以て戦傷病死軍人軍屬の遺族應召又は出征軍人軍屬の家族並に傷痍軍人の身上に關する一切の相談指導に應じ關係遺族の生活の低下を防止し其の向上を圖り以て援護の萬全を期することとせり。

## 四 臺南州歌の歌詞募集

本州に於ては州民の國民的信念を自覺を堅持し皇國の大使命達成のために舉州一致、堅忍持久、克く盡忠報國の赤誠を披瀝して速に本島皇民化の實を擧げ以て皇國



民としての覺悟を強調し併せて臺南州の總ての方面に於ける躍進を謳歌し州民としての幸を感謝し更に州民の統制ある一致協調の精神を喚起せしめ州民全部が皇國の使命達成に對する一大覺悟の時艱克服に關する一大決心を吐露して常に唱和し得る州歌を募集し以て精神作興の徹底に資する目的の下に冀に之が歌詞を全國的に募集中の處總應募者二百二十八名應募歌詞二百三十七篇(内地より九四點、滿洲より五點、朝鮮より三點、樺太、北海道より各一點、臺灣一三三點)に達し州に於ては之が審査委員會を開き嚴選の上一等一點、二等二點、三等三點の當選者を定めたるが一等當選の歌詞左の如し。

### 臺南州歌

(一)  
紫雲の彼方氣は澄みて  
皇國の誇り新高は  
希望に燃ゆる若生の  
崇き理想の象徴なれ

由緒は深し臺南に  
尊き崇き宮柱  
鎮まりまじて州民を  
護らせ給ふぞかしこけれ

(三)  
皇化浴く露ひて  
こゝろを協せ諸共に  
輝く文化策かんこ  
誓ひて起てり臺南州

(四)  
陽光は大地を青みて  
緑の沃野幾百里  
産業興り躍進の  
姿雄々しき臺南州

(五)  
皇御國の御民我  
大御詔かしこみつ  
南の護り南進の  
使命に勇みいざ行かん

## 海外情報

### 國民政府の長期抗戰と

#### 佛領印度支那在留華僑

舊臘我が戰史に輝やかしき一頁を飾つた南京入城もすでに半歳を経た。その間我が皇軍の進撃又進撃に一ミたりもなく支那は敗戦に繼ぐ敗戦を續けて居るが、國民政府は國民に高言をして來た手前面子を保持する爲には言論機關を總動員し、戰況に關しては上海陥落に用ひた名言「實力を保持する爲の戰略的後退」を發表し續けて民衆の目を蔽ふこゝに努力して來たが、避難民の眞情暴露により今や人心は次第に離れつゝある。それを察し乍らも長期抗戰を叫んで民衆を益々塗炭の苦に陥入れなければならぬのは、救國の美辭に隠れて蔣一派が列強の干渉を期待する認識不足の自身保全にかゝる策動に外な

### 臨時情報部

らない。故に彼等は國民の支持を得る爲にはその世情に疎きを利用し、總ゆる虚偽宣傳で命脈を保たうとあせつてゐるが、この民衆を無視した行動は華僑を益々苦境に押詰めると共に延いては自身の命脈を縮めてゐる様なのである。

試みに佛印に就いて述べれば佛印には約三十八萬ばかりの支那人が在留してゐる。彼等は事變發生當時大部分は逆宣傳に迷はされ、熱心に國民政府の抗戰を支持し毎月多額の抗戰資金を送附してゐるが、南京陥落後は抗日の夢も覺め送金額も減するに至つた。最近に至つては月例の献金を經濟的理由で拒絶したり、金額を護麗化したり又は献金の管理人がそれを吞没しやうとする様な事實が紙上を賑はすに至つた。實際華僑に於いても去年の大洪

水の爲農産物減収による土人達の困窮並び、法蘭貨切下げによる物價の騰貴加ふるに排日貨故に、進出せし土人商人の爲華商の蒙むりたる打撃は長期抗戦と共に益々その經濟的立場を苦しくしつゝある。故に國民政府の長期抗戦には恨みこそあれ唱和のさわざでない。彼等の會談によれば排日貨、看視の情況と事變が早くかたついでくられる様に長歎息するばかり、新聞の誇大記事も、今は馬東風耳の例への如く加ふるに強制徵兵實施により逃れて来た者の爲に、總ての店には居候がごろ／＼してゐる有様で又渡來者の談によれば、廣東東地及虎門近郊では男子不足の爲女子を強制的に狩り集めて壘壕掘りの手傳ひをさせ、一面食料品の缺乏により制限を加へ飯を炊くのさへ禁止してゐるの事、この様に南洋華僑の疲弊も我が艦隊の交通遮断と相俟つて南支の人心に影響する所甚大と言はざるを得ない。即ち廣東福建兩省人が多數を占めてゐる南洋華僑の送金によつて生活してゐる。その家族は不況と排日貨による經濟苦の爲に金額は減じられ、一方本國に於いては物價の騰貴と抗日戰の爲め税金

を始終取りたてられ如何なる資産家も雖も居た、まず南洋に逃じする有様で國民政府の長期抗戦の要素たる財源にも影響を來たしてゐる。これが爲支那政府は狼狽して要人を派遣して説得に努めたり、又は蔣介石、孔祥熙、宋子文等より南洋華僑有力者宛に親書を寄せたりして挽回策を講じ、一方では金を吸取するが爲の虚偽宣傳に躍起となつてゐる。しかし日本に關する宣傳も日本を少しでも知る者には一笑されるべき記事ばかりである。その代表的なものを挙げれば華僑が献金や公債を買はずに銀行に預金せるに對しもし國が亡びたならば、その金は外國銀行に没收されるから須く救國資金にすべしとか廣東よりの來信によれば、日本の飛行機が七機廣東軍に參加を申込んだりか果は山東戦線に於いて朝鮮臺灣及び滿洲人兵は戰爭を嫌つて前進しないが虚偽も甚だしい。前記の様な次第で公債の賣行きも香しい筈はなく最近に至つては僑務委員黃緒熙を派遣して南洋一帯に居住する華僑に公債を押し付けてゐるが、その効果も疑はしい。又先月居院長の子息居伯強が歐洲よりの歸途シヨロン國

民黨安南總支部の歡迎席上で述べた如く國際情況の變化により列強にあまり期待出来ない状態である。加ふるに廈門もすでに落ち徐州大會戦も目前に迫り南支沿岸一帯に居住する支那人が戦々競々ミ業に落付き得ない。今日國民政府の言ふが如き長期抗戦の効果は期待出来ないばかりでなく民衆も内心では反對を表明してゐる。唯一部の人々によつて脅迫されて居るに過ぎない。佛印華僑が信局を経て故郷に送る金額は例年に比し半減してゐるの事である。

### 廈門だより

#### 一 華僑と廈門の今後

故山の續く動亂を避けて遠く南洋に雄圖をいだいて活躍する華僑は總ゆる手段を講じて金を儲け、故山に快樂を求めんとする所謂愛郷愛錢にのみに生きる彼等である。

その爲には手段を選ばず邦品の進出に脅威を受ければ排日もやるし、抗日もやるであらう。然しそれは國家意識であらうかは疑はしい。

華僑の操縦は利益でなければ彼等に安息の地を與へる事ではなければならぬ。

#### 二 信局とは？

南支には信局といふものがある。信局は華僑の送金、主として小口送金を引受け受取人に書信と共に送金を手交する機關であるがその起因は同郷の歸郷者に送金を托送せることに發達したものと見らる。大體郷黨關係で成立つてゐる様である。信局の取扱金は華僑送金の半に達し南支經濟界の重要機關の一つである。

されば我國は在南支南洋の我が經濟機構を總動員して華僑の蓄財を安全に保護してやり又彼等が父老への送金を完全に保障し、心から信頼せしめるならば在南支華僑は期せずして我が聖戰に感謝し、我が聖業に協力する日も近きにあらん。

#### 三 廈門邦人引揚中のエピソード

廈門邦人の引揚後に於ける印度人シヤラワックのいみじくも床しい親日振り責任感の強い話が今次事變の生んだエピソードとして喧傳されてゐる。

昨年邦人引揚に際し印度人シヤラワークは鼓浪嶼博愛會醫院の守衛として欣然快諾し、月俸三十圓を糧に科學正義防衛の戰士として爾來十箇月彼は、一挺のピストルを俱に博愛會醫院の倉庫に居を構へて完全に一片のガラスさへも守り了めたのである。その間倉庫の屋根が破壊され腕に負傷しつゝ、も泰然自若として最後まで職責を全うした。

快漢印度人シヤラワーク愛すべし、何たる世にも尊く健氣なる哉。

### 抗日軍戦線に於ける

#### 醜態暴露す

徐州會戦において我が包圍陣脱出をめぐつて李宗仁、中央軍との間に確執のあつた事がはしく暴露され、支那軍事統率の最高機關たる軍事委員會内部の抗争を如實に物語つてゐる。即ち

藍衣社の高級幹部であり軍事委員會政治部第二科長たる康兆民は中央督軍戰隊を率ゐて徐州戦線に参加したのであるが、我が包圍陣を脱出するに際し盛んに反

李志仁熱を煽り總司令李宗仁の命令を全く無視し勝手に退却を命令、各部隊はそれ／＼小部隊になつて康兆民部隊の逃避した地點を通過して脱走することを嚴命し、通過に際しては彼ら中央軍にあらざる部隊の武装解除を行つた。これがため優秀なる廣西軍部隊はましまし武器彈藥なき残らず卷上げられた。これを聞いた廣西軍の一武將は直に康兆民の下に駆けつけ、「何故武装解除をしたか」と難詰したところ康兆民はこれを射殺してしまつた。

右の報告を受けた李宗仁、白崇禧は激怒して直に漢口の軍事委員會に打電して康兆民の即時死刑執行を要求した。

中央軍督戰隊の卑劣な態度は次々に傳へられつゝ、あるので、前線にある各地軍閥の不満が爆發せんとする恐れがあるので軍事委員會はその統制力の破綻を防がんことを起しなつてゐる。

### 中華民國臨時政府

#### 蔣政權に警告を發す

中華民國臨時政府は蔣介石政權が既に軍事は勿論政治經濟、財政の各部門に涉り其の破綻被ふべくもなく、或は黄河の堤防を破壊し、或は暴政を布き自國大衆をして塗炭の苦しみをなめしむるに至つたので今日次の様な要旨の重大聲明を發表した。

#### 中華民國臨時政府聲明の要旨

國民黨の長期戦焦土政策は國家を破壊し滅亡に導き、何等國民利福を計らず、徒らに自國民衆をして窮乏の谷底に陥れるものである。今回の黄河堤防の破壊は勿論北支各地に於ける無益の抗戦は自暴自棄政策の現はれて斯の如くんば蔣介石政權は國民大衆と共に潰滅に瀕するに至るものである。國民黨政府はその大言壯語にも拘らず、要衝は日に々々陥落し國民黨政府の潰滅は既に時間の問題となつた。茲に至つて國民政府は宜しく速かに大勢を達観し、敗戦を認め、時局の平和的進行を圖るべきである。若し今にして大勢を見ず戦を続けるならば萬事休するであらう。北支臨時政府は成立以來日尙淺く半年に至らざるに財政收入は勿

論、全般に亘り基礎鞏固となり人心は安定し、北支の復興は日々益々進捗しつゝ、ある此の際、黨軍内の眞に國を憂ふる各將領は勿論北方諸將は此の理を辨へるに共に明朝北支の再建に協力すべきである。我中華民國臨時政府として一視同仁、何等拒む所なく共に等しく同胞として新支那の復興に邁進するものである。

#### 國民政府の對外信用全く地に墜つ

從來南洋華僑の勢力地たる蘭領印度・ジャバ・マレー半島・スマトラでは公債應募獻金運動等が盛であつたが敗戦に次ぐ敗戦で蔣政權の徹力を漸く認識して來た蘭領印度政府では、國民政府に公債償還の能力無きもの認め、遂に蘭領印度に於ける公債發賣を禁止する旨公表した。此等南洋華僑への公債買却は國民政府の財政窮乏を救ふ唯一の道であつたがシヤム政府の公債發賣を禁止して居り、亦蔣介石政權の地方政權化に伴ひ、英領馬來でも華僑の熱意が漸く冷めつゝある折柄、蘭領印度政府の今回の措置は八方塞りの蔣介石政權の財政破綻に拍車をかけることとなつた。

### 中華民國臨時政府 財政狀態順調に發展

中華民國臨時政府の財政狀態は日を追ふて益々鞏固となり近き將來に關稅、鹽稅、糖稅の三大收入合計は月額一千萬元に達せんとしてゐる。臨時政府は事變勃發一周年を迎へるに當り財政方針の一大轉換を試み治安維持費として巨額を支出し、管轄區域内の匪賊の跳梁を一掃し治安を完全に確保し北支開發工作を更に強化しようとしてゐるのは特に注目に値する。即ち現在關稅、鹽稅、糖稅の三大收入は大體月額七百六十萬元で、その内關稅稅率改正により貿易額は躍進ぶりを示して居り更に鹽稅糖稅も益々増加しつゝ、あるので將來一千萬元に達する見込である。

一方これに對して財政支出は月額五百萬元で今後行政費諸公費への補助、道路構築費、水利事業費の支出を行ふことになつてゐるが之等支出を行つても尙巨額の剩餘

が出る見込なので、今後治安維持費に充て益々肅正工作に邁進し開發事業の進展と共に民心の安定に努力せんとして居りその前途を期待されて居る。

### 捕虜 曰く

蔣は悪い親玉だ

日本軍に捕つた捕虜は殺される支那軍は宣傳し、また英國へは厦門攻略のわが海軍陸戰隊が捕虜を殺害したとのヒステリックなデマが傳はるなきしたため國際赤十字社のスイス人カー博士はワザ／＼陸戰隊に收容されてゐる支那軍捕虜の生活狀況を視察その結果あまりにかけはなれたデマミ事實の相違に驚いた。

次の記事は訪問の記者ミ山岡○部隊の捕虜になつてゐる支那正規兵ミの一回一答である。

問 捕虜生活はさうか

答 自分達は日本軍に捕まるミすぐ殺されるものミ觀念してゐるが、殺されるミころか、三度の飯を腹一ぱい食はされた上、病氣をすれば手當もして貰へるし意外だ、今後眞面目に働いてこの恩返しをする

問 ではもしこれが反對に支那軍だつたらさうなる答 すぐ虐殺だ、味方同士の戰爭だつて捕まれば殺され

る、また戰爭に敗けても殺されるし、自分達は命令のまま、戰爭するより道はない、さつちにしても死ぬのだ

問 また何故あんなにもろく日本軍に敗けたか

答 自分は河北省の大名で苦力をしてゐる支那軍が来て厦門の道路工事をやるから來い、給料も一日一圓やるさいふのでやつて來た、このうちの仲間も大抵苦力や百姓をしてゐるのを騙されて連れて來られたもので

答 自分は月給は貰へぬし逃げようと思つてゐるが、逃

げても旅費がないので留まつてゐる、それで味方が日本軍に撃退されるミすぐ山から下りて降参した

問 大分厦門で掠奪をやつたネ

答 軍費がないからです、政府や蔣介石は戦へくミ命令しながら金をくわぬので掠奪した、そして金を絞るだけ絞るミ殺した今から考へるミ恐ろしい、自分は母親が病氣で看護してゐるのをピストルを突きつけられて連れて來られた、自分がをらぬので、もう母は死んだらうちらへ來て見るミみんな自分同様強制的に兵隊になつたもので、兵隊の多くは中央政府反對の意見

だつたし、すぐこれは戰爭には敗けるぞと思つた、師長(宋天才)は眞つ先に逃げたらしい

問 支那は今戰爭に勝つてゐると思ふか

答 勝つてゐるミは思はぬ、初めはみんな宣傳に乗つてゐるが厦門に來て日本軍ミ戦ひ、捕虜になつて見てもじめて日本軍に負けてゐるミ知つた、そして日本軍の正しい軍律に觸れてこれちや敗けるはずだと思つた、むしろ支那が敗けてしまつた方が國民は幸福だ、支那軍は掠奪や罪もない人民を殺すが日本軍は決してそんなことはしないから

問 蔣介石をさう思ふ

答 會つたことはないが憎い奴だ、支那國民をこんなに苦しめるも蔣介石があるからだ、悪い親玉だ

問 厦門のバンドで日本軍が支那軍の捕虜を殺したミ

答 厦門の人民を殺したミか英國や香港へデマが傳はつたが、事實かさうか

答 そんなはずはない、自分はバンドで降参したものが、捕虜は一人も殺されはしなかつた、自分が保證する、またこんなに自分達を優遇してくれる日本軍が殺すはずがない、日本軍が罪もない國民を殺すものか、殺したのはむしろ支那軍だ

# 事變日誌

臨時情報部

二三

六月六日

1. 開封完全占領、午後二時晴れの入場式舉行。かくて河南の要衝開封も我が軍の大膽極まる迂回作戰巧妙なる分進攻撃により一たまりもなく粉碎され蔣抗日軍營に一人の哀愁を添へたり。
2. 正陽關占領。同地は淮河、潁州、颍河の合流點にして漢口守備の第一線陣地なり。
3. 鄭州も亦危険！奇略縱橫疾風迅雷敵をして對蹙の邊なからしめた我が徐州戦に懲りし敵は早くも後方遮断を恐れ烈々南方に退却を開始し大混亂を呈し居れり。
4. 我が軍は淮南鐵道及同安礦を占領せり。

六月七日

1. 我が軍大舉軍を打つて鄭州方面に潰走する敵を急追し早くも開封、鄭州間の要地中牟を占領せり。戰況愈々非なる支那軍は最近鄭城、周家口方面に隴海の敗殘兵を集め漢口防備に躍起となり居れり。
2. 我が中支方面軍最高指揮官畑大將は去る五月二十日津浦線前線に於て各記者團ミ會見し「徐州占領後は漢口迄行く」ミの固き決意を表明せり。
3. 我が廣東爆撃に對し英佛兩國より抗議的申込みありたるも我方斷乎としてこれに當り却つて第三國の認識の足らざるを覺らしむるに共ニ漢口、廣東

5. 我が空軍部隊の活躍  
イ、陸の荒鷲——鄭州洛陽を空襲多數の爆彈を投下せり。  
ロ、海の荒鷲——南陽飛行場及廣東市内外を猛爆せり。

5. 愛國の赤誠

に對しては今後一層熾烈なる空爆をなすべきことを言明せり。  
事變以來本島に於ける國防献金はその額既に七十四萬八千六百餘圓に達し陸軍にては早速防空用兵器即ち高射砲、照空燈、聽音器等の購入に充てることなれり。

六月八日

1. 鄭州防衛の敵總指揮胡宗南早くも何れにか遁走せるものの如く既に我が軍の爲重圍に陥れる十五師二十萬は今やその兵力の半を失ひ又も刻々に迫る殲滅の悲運に狂亂の狀を呈し居れり。
2. 我が渡河精銳部隊の開封攻略に一旦敗走せる敵は小嶺にも三箇師約一萬の兵を以て逆襲し來れるも直ちに我が反撃に遇ひ二千の死體を遺棄して潰走せり。
3. 海軍航空隊は鏖塘江南岸蘇山東方に集結せる數千の敵を攻撃徹底的損害を與へたり。

六月九日

1. 連日に亘る我が廣東爆撃に市民及び南洋華僑は漸く抗日軍の無力を覺り頻りに當局を難詰し或ひは愛國公債の返還或ひは獻納飛行機の出動を迫るなき「無い袖は振られぬ」廣東軍當局を痛く困惑せしめつゝあり。
  2. 敗戦に次ぐ敗戦を以てして今や如何にもしがたき支那軍の脆弱振りに對してはその多くの原因は訓練されたる兵士の不足に在るもの如く老練なる兵士は既に南京陥落以前に出づつて今後の抗戦は愈々困難なるべし見らるゝに至れり。
1. 廣州を出發し揚子江以北に作戰する我が部隊は舒城を占領せり。
  2. 津浦全線開通——皇軍の作戰並に北、中支の政治上に重大意義を加ふ。
  3. 海軍航空隊廣東及び南支各地を猛爆せり。
  4. 我が軍、總領事館、總督府三者の協力により廈門復興委員會開かる。

二三

- 6. 漢口放棄、奧地分敵！  
國民政府は漢口の危機切迫せるを以て政府各機關に重慶、昆明に夫々移轉すべきことを命令せり。これにて國府は愈々地方政權に没落するこゝなれり。

六月十日

- 6. 李宗仁は徐州會戦に惨敗せるの故を以て第五戰區司令の職を剝奪されし爲めこの蔣介石の強壓手段に憤慨せる廣西派との反目は一層深刻化せり。
- 1. 鄒州南方に於て我が軍又も京漢線の遮断に成功せり。狼狽の敵は西方及び西南方中間地區に向け潰走中なり。
- 2. 悲しき告白——流石の支那軍當局も開封の陥落を承認し又鄭州も既に我が重圍に陥りつゝ、あるこゝを告白せり。
- 3. 北支戦線に活躍赫々たる武動を建てし香月中將は凱旋せり。
- 4. 陞の荒鷲部隊頭上、阜陽、六安、舒城を襲撃軍用

六月十一日

- 7. 武漢警備司令に蔣の股肱陳誠副司令に張發奎任命され漢口を中心する湖北の防衛に當り居れり。
- 6. 國府外交部の昆明移轉は同政府の外交關係に重大な變化を齎し各國外交官の動きも漸く活潑となり又これと共に最近頗る積極化せるフランスの對支態度は注目せられ居れり。
- 5. 在東京支那大使館閉鎖、楊代理大使は我が外務省を訪問し歸國の挨拶をなせり。
- 1. 我が飛行隊は安徽省六安、商城、固始方面の敵軍及び軍事施設を爆撃し又他の一隊は信陽方面の偵察を行へり。
- 2. 我が軍は安徽省巢縣、無爲間の山岳地帯に蟠居する約二箇師の游撃隊を掃蕩し遂に蕪湖、巢湖間の水路を啓開せり。
- 3. 支那敗殘兵非人道にも黃河堤防破壊の暴舉を敢てせり。

六月十三日

- 1. 香月中將東京驛着直ちに宮中に參内軍狀を奏上せり。
- 2. 安慶入城式舉行、我が軍の意氣正に天を衝くが如し。
- 3. 陸海空協同安慶對岸の敵大部隊に對し殲滅戰を展開す。
- 4. 舒城を攻略一路安慶に向ひ南下中の我が部隊は桐城を占領し更に敵を南方に急追中なり。

六月十四日

- 1. 我が部隊は安慶より敗退する敵を急追して鮑家橋、陶中駟の敵陣地を突破し潛山に肉薄せり。
- 2. 陸軍飛行隊の偵察によれば我が海軍遊撃部隊は安慶上流約四十軒の東流附近に勇姿を現はし更に進撃の態勢を示し居れり。
- 3. 海軍航空隊長顧廣西省々城桂林を空襲、事變以來最初の而も往復二千軒敵の意表を衝いてこの壯舉に全く敵の心膽を塞かしめたり。

六月十二日

- 4. 我が軍は蕪湖上流漢口方面作戦行動に關し第三國艦船の不幸なる事件の發生を避けん爲漢口附近より蕪湖附近までの間の立退きを要請せり。
- 1. 我が軍京漢線兩段の要地新鄭東南方の鐵橋爆破に成功完全に敵の退路を遮断せり。  
これにて我が軍は隨海線中牟附近、京漢線北方黃河鐵橋及び同南段の要地を悉く制壓し僅かに残る西方への退路も亦我が砲彈の射程距離内に在るを以て茲に我が包圍陣は全く完成され絶對的勝利を期せらるゝに至れり。
- 2. 安慶に敵前上陸安慶城、同城及び太子磯金江口砲臺占領我が高橋、佐藤部隊の偉勳。
- 3. 海軍航空隊引續き廣東及び福州方面を猛爆す。粵漢、廣九兩鐵路、從化飛行場、福州軍事施設、馬尾造船所及び同安港司令部。
- 4. 蔣介石の後方擾亂による爆彈事件續出に鑑み上海全市に非常警戒をなす。



# 支那事変博覽會

会期 七月一日—七月十五日

会場 台北市公會堂

主催 臺灣日報社  
臺灣總督府  
臺灣軍司令部  
後援 馬公要港部

- 六月十五日
1. 漢口は最早臨戦地帯に入り市民の避難、物資の缺乏、防禦陣地の構築等その動搖愈々深刻化せり。
  2. 安慶全く鎮靜に歸し自治委員會設立準備委員會成立せり。
  3. 我が佐藤部隊の一部は安慶の對岸に蠢動する敵を掃蕩すべく黃山嘴に上陸南方へ進撃中なり。
  4. 我が精銳各部隊陸續皖江岸に到着、潛山の陥落も目睫に迫れり。
  5. 海軍航空隊襄陽、信陽及び馬當鎮を爆撃せり。
  6. 國共兩黨の相剋極點に達す  
最近共產黨は蔣介石に對し漢口死守の最後通牒的要求を提出せるを以て従來の協調的態度はこゝに全く破局の危機に直面せり。

昭和十三年六月二十八日印刷  
昭和十三年七月一日發行  
(月三回發行)

臺灣總督府臨時情報部

印刷人 臺北市榮町三丁目十五番地  
加藤 豊吉

印刷所 臺北市京町二丁目四十三番地  
小塚本店印刷工場

部報 昭和十三年九月二十日第三種  
昭和十三年七月一日發行  
(每月一日、十一日、廿一日發行) 第三十號